

第2回 横浜市泉区地域ケアプラザ指定管理者選定委員会 議事録

日 時	令和5年4月28日(金) 午後1時30分から4時30分まで
開催場所	泉区役所4階4AB会議室
出席者	<p>【選定委員会委員】</p> <p>委員長 村井 祐一 (田園調布学園大学人間福祉学部 学部長・教授)</p> <p>委員 貝沼 貞夫 (社会福祉法人横浜市泉区社会福祉協議会 会長、 緑園連合自治会 会長)</p> <p>相原 重幸 (新橋連合自治会 会長)</p> <p>石川 あさ子 (中川地区民生委員児童委員協議会 会長)</p> <p>石田 五十六 (中川地区社会福祉協議会 会長)</p> <p>泉 直子 (泉区地域子育て支援拠点すきっぷ 施設長)</p> <p>浦 恭子 (東京地方税理士会戸塚支部)</p> <p>木村 聡 (泉区介護支援専門員連絡会 (ケアマネフォンテ) 代表)</p> <p>林 里美 (泉区障害福祉自立支援協議会 会長)</p> <p>福田 明美 (横浜市泉区在宅医療相談室 管理者)</p> <p>【事務局】</p> <p>泉区福祉保健センター長 西野 均</p> <p>泉区高齢・障害支援課長 稲垣 純子</p> <p>泉区福祉保健課長 齋藤 有香</p> <p>泉区福祉保健課事業企画担当係長 大井 翔</p> <p>泉区福祉保健課事業企画担当 伊藤 貴、大山 翔子</p>
欠席者	無し・有り
開催形態	非公開
議題	<ol style="list-style-type: none"> 1 審査方法について 2 各応募団体のプレゼンテーション及び面接審査 3 指定管理者の候補者の選定 4 連絡・確認事項
決定事項	<p>指定管理者の候補者 (以下「指定候補者」という。) 及び指定候補者を指定管理者として指定できない場合に指定候補者に代わって指定候補者となる者 (以下「次点候補者」という。) として、次のとおり、横浜市泉区長に報告することとする。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 横浜市新橋地域ケアプラザの指定候補者及び次点候補者 指定候補者：社会福祉法人 開く会 次点候補者：応募者が1団体のため該当なし 2 横浜市岡津地域ケアプラザの指定候補者及び次点候補者 指定候補者：社会福祉法人 誠幸会 次点候補者：応募者が1団体のため該当なし

議 事	<p>1 審査方法について</p> <p>(事務局)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・応募団体のプレゼンテーション・面接審査の流れ及び採点・集計方法について説明した。 ・選定方法について、最低制限基準（「7 前期の指定期間の実績」を除く評価基準項目1～6の合計点に、第2回選定委員会に出席した選定委員のうち最高点をつけた委員及び最低点をつけた委員を除く委員数を乗じて算出した点数の60%以上。）に満たない場合は再公募を行うことを再確認した。 <p>2 応募団体によるプレゼンテーション及び面接審査</p> <p>(1) 事務局からの報告</p> <p>(事務局)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・資格要件について、「暴力団又は暴力団経営支配人等ではないこと」に関して、神奈川県警に照会した結果、該当しないとの回答を受けた旨や市税納付状況等の確認を行った結果、資格要件を満たしている旨を報告。 ・本市（健康福祉局）が第三者機関に対して行った財務評価委託の結果を報告。併せて、税理士である浦委員から財務状況の評点及び理由について説明があった。 ・前期の指定管理業務の実績について報告。 <p>(2) 質問内容等の共有</p> <p>(委員)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・質疑応答の際の質問内容等について、委員間で情報共有を行った。 <p>(3) プレゼンテーション及び面接審査</p> <p>団体から、団体の概要、事業計画等について説明。その後、団体と委員の間で質疑応答を行った。</p> <p>ア 新橋地域ケアプラザ 社会福祉法人 開く会</p> <p>(委員) 人材育成、確保についての取組を教えてください。</p> <p>(団体) 地道に今いるスタッフを育てる方針です。実際に現在欠員があり、育成が間に合っていない状況ですが、現在、当法人で3館のケアプラザを運営しているので、一定の経験を積んだ職員が次の資格を取れるように金銭的な補助や研修に行けるような職場環境の整備に取り組んでいます。家庭の都合などで一度退職した職員が復帰を希望することがあるので、そのような場合には再度雇用して配置する対応をしています。</p>
-----	---

(委員) 事業展開にあたって、法人の強みあるいは弱みを教えてください。
(団体) 開く会は障害のある方向けの施設からスタートしており、今後、エリア内の障害のある方たちの高齢化が課題になってくると感じています。エリア内には多くのグループホームや施設があり、介護保険を利用するときの相談や、高齢になりつつある障害者との関わりについては、障害分野や高齢者の介護保険に関する分野を扱ってきた経験が活かせると考えています。

弱みとしては、人材育成の面で、特別養護老人ホームやグループホームを持っていないので、ケアマネジャーや社会福祉士の確保は出来ても、保健師の確保と育成に課題があります。

(委員) 法人の弱みについて、どのように取り組んでいく予定でしょうか

(団体) 保健師職は介護保険のデイサービス部門の業務と包括の相談援助では業務内容が大きく異なり、両者をつなげることが出来ていません。しかし、デイサービスの業務を担当している職員が地域貢献や地域の情報、課題について認識することで、包括の相談職員として配置することも今後は検討していく必要があると考えています。

(委員) 合築施設であるコミュニティハウスとはそれぞれの役割が違いますが、合築であることをどのように活かしていますか。

(団体) コミュニティハウスとケアプラザでは利用条件が異なるため、利用者の層が異なります。コミュニティハウスは子育て世代の利用が多く、ヨガ教室や手芸教室などが企画されており、年間2万人以上の利用があります。ケアプラザは高齢者の利用が多く、高齢者の介護予防や高齢の方向けの体操教室などを行っています。得意分野が違うので、役割分担をしている状況です。子ども向けの事業を一緒に行うことで、普段コミュニティハウスを利用される方にケアプラザに来ていただくというような連携を取りたいと考えています。

(委員) 地域の中にはコミュニティハウスとケアプラザの違いが分からない方もいます。コミュニティハウスと連携を取りながらお互いの強みを生かして取り組んでいただきたいと思います。

(委員) 子どもに関わる相談について乳幼児より幼稚園や小学生くらいの子どもの相談が多い印象ですが、相談はどのようなことをきっかけに、どのような年齢層の子どもの相談があるのでしょうか。

(団体) 明確な相談にあたるかは分かりませんが、コミュニティハウスのキッズスペースに来ている親子で気になる様子が見られたためお声がけさせていただき、お話を聞いているうちに相談という対応になるケースがありました。

(委員) コロナ前までは子ども向け事業をやっていましたが、またケアプラザで子ども向けの事業を行う予定はありますか。

(団体) コロナ前までは確かにやっていましたが、参加者が来なかったのが実状です。立地などの影響もあると考えています。地域のサロンの参加者数について確認していますが、伸び悩んでいる状況です。小学生向けのお祭りや、料理教室等を開催しており、そういった事業を今後も行っていこうと考えています。

(委員) 所長の兼務状況について教えてください。

(団体) デイサービスの管理者と居宅介護支援事業の管理者を兼務しています。介護予防支援事業の管理者は別です。

(委員) 5月8日以降コロナが5類になりますが、どう捉えていますか。変化などについて考えはありますか。

(団体) 徐々にコロナ前の状況に戻ってきており、貸室の利用については、時間制限、人数制限等は現在行っていません。マスクの着用については、任意であることをお伝えして利用者の判断に任せていますが、ほとんどの利用者が着用されている状況です。なお、デイサービスの利用者は感染リスクの高い方が多いので、利用者スタッフにマスクの着用をお願いしています。

イ 岡津地域ケアプラザ
社会福祉法人 誠幸会

(委員) ご意見箱を設置されているということでしたが、今までにどのような内容の意見が寄せられ、対応されてきたのでしょうか。

(団体) 多くのご意見が寄せられることが望ましいですが、あまり多くのご意見は来ていません。過去に寄せられたご意見では、トイレに靴ベラを設置してほしいという要望があったため、即日靴ベラを用意し、設置しました。頂いたご意見とケアプラザの対応については、情報ラウンジ、ケアプラザ通信に掲載しています。子育てサロンなどで子どもの遊ぶ時間を増やしてほしいというご意見もありましたが、新型コロナ感染対策のため制限をしていたので、ご意見を寄せられた方に直接説明をさせていただきました。

(委員) たくさんの事業を工夫し、展開されていることが分かりました。参加者を募集されるにあたって何か工夫されていることはありますか。

(団体) ケアプラザの周知となると、ケアプラザ通信を発行し、自治会で回

覧、掲示板用を作成し掲示していただくなど情報提供をしています。スーパーのいなげやさんにチラシを貼らせていただいたり、事業の参加者には事業の時に周知させていただいています。また、中川連合町内会の定例会の時にケアプラザが話す時間をいただいているので、そのような場でも周知をしています。ほかに、申込方法も、電話や来館だけでなく、若いお母さん世代には二次元コードなど様々なツールを使って申し込んでいただいています。岡津地域ケアプラザではTwitterもやっている所以、Twitterを使った情報提供も行っています。

(委員) 人員の確保や働き方について、特に取り組んでいることはありますか。

(団体) 法人として、職員が働きやすい環境づくりに取り組んでいます。以前には、色んなテーマをもとに委員会を結成し、制服の見直しなどを行いました。職員の充足はなかなかうまくいかないところもあるので、待遇の改善だけでなく、職場の環境改善に取り組んでいます。

(委員) 今後事業を展開するにあたり、団体としての強みと弱み、対策を教えてください。

(団体) ケアプラザの強みは、チーム岡津として、職員が一丸となって事業に取り組んでいる点です。お祭りのときは、それぞれの職員でいろいろな役割があるなかでも、一丸となって準備を進めた点が素晴らしいと考えています。

弱みはローテーション勤務で、職員全員が揃う機会がないことです。情報共有には、メールなどを活用し連絡を取るようにしています。

(委員) 5月8日以降コロナが5類になりますが、どう捉えていますか。変化などについて考えはありますか。

(団体) 岡津地域ケアプラザは、開所当初から新型コロナウイルス感染症の影響を受け、様々な制限の中で事業を行ってきました。貸室についても消毒や換気等のために利用時間の制限を行い、少しずつ制限を緩和していましたが、今年の4月からは貸室の利用時間を3時間に戻し、事業の定員も設けず、事前予約が必要だった事業も事前予約不要に変更し、より多くの地域の方が利用できるように変更しました。また、ヨガマットなどの備品も利用できるようにしました。高齢者の利用が多い施設なので、感染症対策は今後も職員の方で行いますが、利用者の制限は解除していく方針を取っています。

3 指定管理者の候補者の選定

プレゼンテーション及び面接審査並びに事務局から前期の指定管理業務の実績に係る報告を受けて評価を行い、各委員の評価結果を集計する。

(1) 横浜市新橋地域ケアプラザ

	応募団体	選定委員会としての 審査点/満点
		評価基準項目 1～6 の 合計得点/満点・得点率
指定候補者	社会福祉法人 開く会	1,724/2,560 点
		1,725/2,440 点・70.7%

(審査講評)

- ・次期指定期間も安心して任せられると思います。
- ・立地条件が悪く、ケアプラザへ行くことが難しい地域もあるなかで、ケアプラザから出向いて講座を開催するなど、地域へ出向くことが出来るよう、適切な人員配置が必要と感じました。
- ・子育て関係の事業について、参加者が来ないのでやっていないとのことですが、なぜ参加者が来ないのか、ケアプラザの持っているネットワークを活かして分析し、開催に向けて検討していただきたいと思います。
- ・感染症対策の制限が解除されるタイミングなので、広報やPR活動について引き続き進めていただくとともに、新たな利用者層の開拓や、地域へ出てくる人を増やすきっかけとなるよう、取組を進めてください。

(2) 横浜市岡津地域ケアプラザ

	応募団体	選定委員会としての 審査点/満点
		評価基準項目 1～6 の 合計得点/満点・得点率
指定候補者	社会福祉法人 誠幸会	1,822/2,480 点
		1,756/2,360 点・74.4%

(審査講評)

- ・開所後すぐにコロナの影響を受け、制限がある中で、一生懸命取組を進めていただいていると思いますが、地域での認知度はまだ低い印象があります。PR や口コミの活用などで、認知度や施設の利用率を上げていただきたいと思いま

	<p>す。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・便利な場所ではありませんが、WEB フォームを活用し、来所や電話以外の申込方法を取り入れるなど、いろいろな世代に向けた取組を進めているところが評価できます。 ・地域診断に取り組まれていることについて話がありましたが、診断結果をふまえて、どのように地域と取り組んでいくのか今後の展開に期待しています。 ・要支援者等のケアプランの作成などについて、積極的に取り組んでいただいている印象があります。役割分担がしっかりして、法人として積み上げてきたノウハウを生かしていることが感じられます。 ・戸建てが多く 8050 問題が深刻な地域ですが、勉強会やディスカッションなどを行い、積極的に取り組んでいると感じます。 <p>指定候補者の得点は、いずれも最低制限基準の 60%以上であるため、選定委員会として、新橋地域ケアプラザの指定候補者に「社会福祉法人開く会」を、岡津地域ケアプラザの指定候補者に「社会福祉法人誠幸会」を選定することを決定する。</p>
<p>資 料 特 記 事 項</p>	<p>1 資料</p> <ol style="list-style-type: none"> (1) 横浜市泉区地域ケアプラザ指定管理者選定委員会（第 2 回）次第 (2) 横浜市泉区地域ケアプラザ指定管理者選定委員会名簿 (3) 応募書類（2 団体） (4) 応募団体（2 団体）に関する各種照会結果について (5) 評価シート <p>2 特記事項</p> <ul style="list-style-type: none"> ・指定候補者となった法人については、選定委員会委員長から区長へ報告を行い、各法人へ通知する。 ・選定結果は泉区のホームページに掲載する。 ・委員会の議事録は議事の要旨を泉区のホームページに掲載する。